

委員 会 報 告

総務委員会

去る九月二十二日日本会議において、当委員会に付託されました諸議案について九月二十六日に委員会を開催し執行部の説明を求め、審査いたしました。その結果、賛成多数で原案通り可決すべきものと決定いたしました。尚、付託議案及び所管事項の内、特に次の事項について審査がありました。

なかで一律支給は公平ではなく、したがって、その支給額は行政区規模を基に検討して差をつけるべきではないか。などの意見が出されました。さらに平成十七年度小城市一般会計補正予算(第二号)中、総務費(総務管理費・企画費)の職員提案制度に関する報償費七万五千円については、行政改革を強力に推進するなかで、職員として研鑽・研究を常に意識し取り組むべきことは、当然のことであり業務範囲であるとの意見があった。したがって、予算総額は変更せず、提案制度を見直し本計上予算の執行は見送るべきとの意見もありました。

文教厚生委員会

去る九月二十二日日本会議において、当委員会に

付託されました議案で、文教厚生委員会が所管するもので、他四議案について九月二十六日に委員会を開催し執行部の説明を求め、審査いたしました。その結果、全員賛成で原案通り可決すべきものと決定いたしました。尚、付託議案及び所管事項のうち、特に次の事項について審査がありました。

産業経済委員会

去る九月二十二日の本会議において、産業経済委員会に付託されました議案については、九月二

建設委員会

去る九月二十二日日本会議において、当委員会に付託されましたうち建設委員会が所管するもの諸議案について、九月二十七日に委員会を開催し執行部の説明を求め、審査いたしました。その結果、全員賛成で原案通り可決すべきものと決定いたしました。

尚、付託議案及び所管事項のうち、特に次の事項について審査がありま

した。
平成十七年度小城市一般会計補正予算(第二号)のうち、土木費(道路橋りよう総務費・使用料及び賃借料)に伴う市道土地借上げ料について、今後は買取するのが望ましいとの意見がありました。

広報委員会研修

(十月四日～五日)

大分県豊後大野市議会の議会広報編集特別委員会研修をした。

豊後大野市は、今年三月三十一日に五町二村が合併した人口約四万三千人の市である。議会は定数特例を使い現在議員数三十一人。

議会広報は、九月一日に一回目を発行。一般質問を中心に編集しているが、「キラリと言」というコーナーで、市民の新市・議会に対する意見を掲載。

広報に限らず合併後の議会全般にわたって意見交換ができ、有意義な研修であった。



▲活発な意見交換